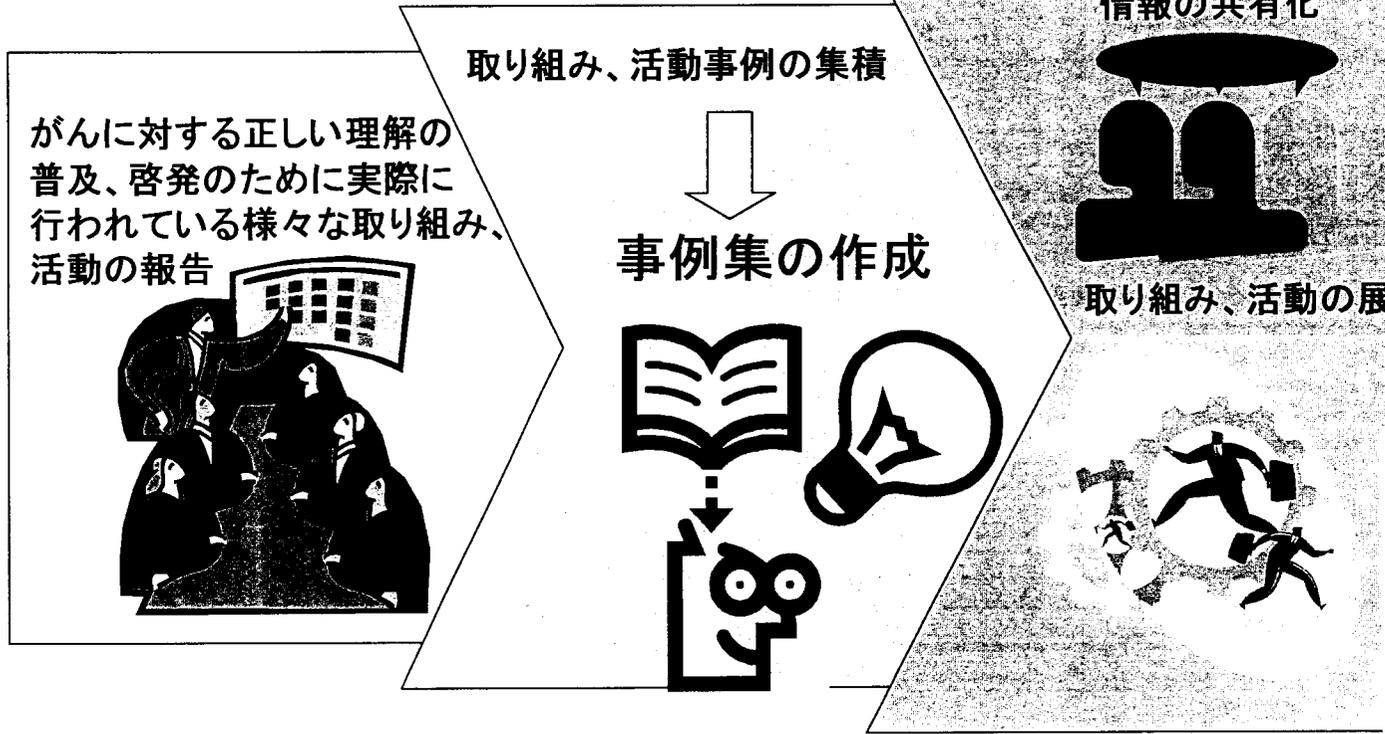


事例集の作成について(案)



〇〇〇におけるがんに関する普及啓発活動について
—〇〇〇〇〇の活動—

	「〇〇〇」代表 〇〇〇〇〇委員長 啓発 花子
--	------------------------------

【〇〇〇について】
「がん」は悪性腫瘍における第一位となり、年間約2500人の悪性腫瘍ががんにより死んでいる。がんの診断、治療には高度な医療設備が必要となるが、高額なため、悪性腫瘍において医療が進んでいない状況にある。財団法人癌研研究所において「がん」の診断や治療のための医療設備整備等を目的とした「がん対策基金」事業を開始した。

基金の目標額を1億円とし、期間は平成19年度から開始している。基金の拠出は癌研院内のがん診療連携拠点病院のがんの診断、治療のための医療設備の購入費とし、基金の対象者は、県内企業、各種団体、医療関係、その他である。

平成21年2月20日現在の基金額は、3億1829万3482円となっている。

【〇〇〇の活動について】
紹介した企業等に癌研の医療従事者が、このように癌研のリーダーとして、今年までなられた患者さんも一緒に携っていらっしゃったんですけれども、その人たちが何かの所で私たちを指示して下さるような気がして、いろいろな形でこの基金を知らせています。

…今は1億1200万円と集まりました、それはすごいことだと思っています。パナソニックに集まって、みどころやん、まがたまのんのスタッフ

とが、JAの「がん検診」とか、自衛隊、トイレットペーパー、お弁当屋さん、カーメンさんのおかげに、財団基金、企業基金、たくさんの方が協力して下さり、全体で3億円集まりました。

…癌研は病院を挙げて、この基金をどうした方がいいかというのを考えています。持っている、よりいい医療設備の導入ができてほしい、また一番私たちが望んでいる、患者・家族が望んでいるいい医療ができる体制もできると、地元の医療者ができる限りいろいろなことを考え、持っているだけではなく、私たちが立ち上がり、地元でいい医療のために基金活動を行ってあります。

それが癌研のリーダー基金に集まった活動です。それが癌研で7億を集めた目標なんですけれども、まだ足りないんですけれども、これが何となくとんちんかんに集まりました。私たちが患者・家族がどうして集まってくれたのかという活動行動を私には何かができるということ、意味のあることだと思って残っているとおもっています。

そして私達の中に行きも加わり、見て見えてきたってことです。私たちが活動するから、行政とか本部に支えて下さっています。その中で、患者・家族が黙って待ってはいけません、先生たちとかみんなが気持ちで押すれば、みんなが集まってくるんです。動機に立って、皆さん一人一人に啓発活動もできるんです、そういうことで私は、これからも活動を続けたいと思っています。

【約150文字】

事例集の形式

- ① 1事例を1ページにまとめたもの。(概要版)
(1200文字程度)
- ② より詳しく、図、表などを盛り込んだもの。(詳細版)
(4000～6000文字程度)



